



国際ロータリー第2530地区 2014-15年度

福島ロータリークラブ會報

第11号

例会日/2014年9月18日(木)

開会点鐘/12:30

会場/ホテル[辰巳屋]8F

和の心で
日々燭を掲げよう

Rotary



本日の
プログラム

ゲストスピーチ

福島市長 小林 香様

<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30

【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

例会次第

開会点鐘 幡 研一 会長エレクト
ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 安藤健次郎 会員
「四つのテスト」唱和 松浦敬裕 会員
お客さま並びに来訪ロータリアン紹介
会長挨拶 幡 研一 会長エレクト



『ロータリーの友』9月号紹介
●広報マルチメディア雑誌小委員会 河田 亨 委員

食事

幹事報告 坪井大雄 幹事

各委員会報告

●プログラム・ニコニコBOX小委員会
ニコニコBOX担当 今井理基夫 委員



◎本日のプログラム

開会点鐘 幡 研一 会長エレクト

福島RC親善囲碁大会報告 (9月20日 於:辰巳屋)

親睦ロータリー家族小委員会 菅野 晴隆 小委員長

参加者

渡辺 弥 五段 (二本松RC) 大野順道 四段 (福島南RC)
川崎真二 三段 (福島西RC)
江花 亮 四段 佐藤英典 四段 八子英器 四段
氏川守義 四段 加藤義朋 初段

出席/藤井高志委員、菅沼裕委員、後藤洋伸委員、坪井大雄幹事

成績優秀者賞は、2年連続で氏川守義会員(5勝0敗)に贈られました。大会開催に際し、福島西RC川崎真二様より末廣大吟醸「玄宰」をご恵贈いただき、丹治会長より日本酒2本とシャンパン1本をご提供いただきました。また、八子会員に全般にわたりご指導・ご協力をいただきました。私は、囲碁に関して全くの素人で、今回初めて観戦させていただきましたが、和気あいあいとした雰囲気の中で、対局時は真剣勝負の白熱した展開も見られ、大人の先輩方がこれだけ熱中できるものなのかと新鮮な感動を覚えるとともに、このような親睦活動は大変意義深いものであると改めて感じる一日となりました。今後も、親睦活動の一つとして継続されることを期待しつつ、大会の報告とさせていただきます。



力の代理の代理です、会の進行に協力
の程、宜しくお願い致します。
今月は「新世代月間」ですので、それ
因んで福島県と教育について先日丹治会長
がお話された、会津藩のことを多少追加さ
せて頂きます。
会津藩は天明二年(一七八二)から数年
間続いた天明の大飢饉で甚大な被害を受
け、財政も破たん寸前、人民の心も荒廃し



会長あいさつ

会長エレクト 幡 研一

本日は丹治会長が
所用にて欠席、古俣副
会長と紺野直前会長
も共に都合が悪く、会
長エレクトである私
が、会長代理を務めさ
せていただきます。代

ていたといわれています。
そのような中、五代藩主松平容頌(かたの
ぶ)は家老の田中玄宰(はるなか)と共に、藩
政の改革の中心に「教育の振興」をあげ、こ
れが会津藩校「日新館」創設へと進みました。
「日新館」の教育目標は、人材の育成」という会
津藩の方針のもと、藩士の子弟は十歳になる
と日新館への入学が義務付けられました。
白虎隊の隊士達もここで学びました。(日
新館では、学問だけではなく、多くの武術を
学んだ)

また同じ町内に住む六歳から九歳までの藩
士の子どもたちは、十人前後で集まりを作り
ました。これを什(じゅう)と呼び、夫々の什
には決まり事がありました。それが「什の掟
(おきて)」です。つまり什の掟は日新館に入
る前の子どもたちの心得です。
昨年七月、日本産婦人科医会の「性教育指

導セミナー全国大会」を福島県産婦人科医
会が担当で、会津大学で開催されました。
NHKの「八重の桜」が放映中でしたので、
全国から集まった四〇〇名を超える参加者
に、そのことを話して、会津藩に対する理
解を得て頂きました。数名には日新館も案
内しました。
大震災および風評被害からまだ復興途
上にある中、復興の中心は子どもへの教育に
あると言えます。私たちも、将来の福島県
日本のために子供たちが心身共に健全に成
長するよう応援したいと思えます。
本日は小林 香福島市長様にご講演をお
願ひしてあります。時間が少なくて申し訳
ありませんが、本日お話できない分は次回
にまたお出で頂きご講演下さるようお願い
申し上げます。私共も福島市の震災復興に
一緒になって頑張りたいと思います。

〈福島市政2014〉

みんなが誇れる 県都ふくしまを創る

福島市長 小林 香様



2014
主な取り組み

1. 基本理念と三つの施政方針
2. 四つの重点施策
3. 職員の意識改革
4. いのちを大切にすまち
5. 女性が活躍できるまち
6. 子どもと高齢者を大切にすまち
7. 活力あふれるまち
8. 福島市のポテンシャル

1. 基本理念と三つの施政方針

◇基本理念 「みんなが誇れる県都ふくしまを創る」

◇施政方針

1. 市民主役の市政
 - ①市が抱える課題と真正面から向き合う
 - ②市民の意見を市政に反映する
2. 福島市を東北第二の都市に
3. 東日本大震災からの復興と発展

2. 四つの重点施策

1. いのちを大切にすまち
2. 女性が活躍できるまち
3. 子どもと高齢者を大切にすまち
4. 活力あふれるまち

3. 職員の意識改革

1. おもてなしの実践
 - (1) さわやかあいさつ運動
 - (2) みだしなみチェック
 - (3) 通勤時ボランティア美化活動
2. 体制の強化・改革 (H26.4.1)
 - (1) 除染推進室を新設
 - (2) 子ども子育て支援新制度準備室を新設
 - (3) 再生可能エネルギー推進係を新設
 - (4) 本市初の女性部長職を配置
 - (5) 中核市移行準備室を新設 (10.1～)
 - (6) 企業誘致専門官を配置 (7.1～)
 - (7) 人事異動アンケートを実施 (H26. 1月)

3. 情報発信力の強化

- (1) 東京での記者発表を実施
- (2) 積極的なトップ講演
- (3) 記者会見の月例化検討を指示
- (4) BS全国放送番組の制作を指示

4. 施設開館時間の見直し

- (1) 子どもの施設 (2) その他の公共施設

4. いのちを大切にすまち①

1. 除染の加速化

- (1) ふるさと除染実施計画の前倒しを指示(数値は9. 1現在)
- (2) 地元説明会にトップ参加
- (3) 環境省と4市長の勉強会へ参加

2. 健康チェック体制の強化

- (1) ガラスバッジによる外部被ばく線量測定の対象拡大を指示。受検者全員が預託実効線量1mSv未満で「健康に影響を与えるような数値ではない。」～市健康管理検討委員会～
- (2) 電子式積算線量計300台の貸し出しを継続
- (3) ホールボディカウンタによる内部被ばく検査の継続

3. 食品チェック体制の強化

- (1) 出荷農産物/市地域の恵み安全対策協議会
- (2) 自家用農産物/持ち込み検査システム
- (3) 学校・保育所の給食

5. 女性が活躍できるまち

1. ウィメンズ・イノベーション・カレッジ IN ふくしま

「話し合いの技術(ファシリテーション)を学び、政策提言を作成するスキルを身に付ける講座」
～男女共同参画の視点～

2. 働く女性応援セミナー

「働く女性が活躍できる職場環境づくりをテーマとした講演会、パネルディスカッション、アンケート調査」～商業労政の視点～

6. 子どもと高齢者を大切にすまち

1. 教育環境の重点的整備

- (1) 教室・保育施設にエアコンを設置
- (2) 世界に羽ばたく福島つ子育て事業
- (3) 元気・体力アップの推進

2. 介護マンパワーの充実

- (1) 資格取得を進める事業所を支援
- (2) 介護職場への就職を支援

3. 高齢者活動環境の充実

◎元気高齢者がいきいきと活動することが、介護や閉じこもりの予防につながり、社会の活性化を生む

- (1) 75歳以上バス無料化の継続
- (2) 福島交通飯坂線の検討調査を開始
- (3) 健康支援事業の充実
- (4) 交流サロン事業の推進

4. 子ども・子育て基金の創設

◎目的: 子どもたちの健やかな成長と、安心して子育てできる環境づくりを推進する。

◎長期的な視野に立つ少子高齢化、人口維持施策の先取り

7. 活力あふれるまちー1 不安の払拭に向けて

1. 環境改善施策の充実

(1) 生活環境／地域生活基盤事業、地域コミュニティ支援事業の新設

◎除染が最優先の現状を踏まえ、対象事業の厳選化等図りながら、現人員体制下で実施可能な範囲で実施する。～旧事業の見直し～

(2) 健康環境／運動・レクリエーションの場の創出

2. 防災施策の充実

(1) 吾妻山火山防災マップを全戸配布

(2) 協力協定の締結

(3) 避難所誘導標識等の設置を指示

3. 避難者支援策の充実

(1) 子育て定住支援住宅の建設

(2) 市長と自主避難者との懇談会開催

(3) WBC車による県外検査を実施

7. 活力あふれるまちー2 元気の創出に向けて

1. 経済・産業の復興と発展／トップセールス強化

(1) メディカルバレー福島の実現に向けた企業誘致

(2) コンベンション事業誘致

(3) くだもの王国のPR強化①／行政、市場、量販店等

(4) くだもの王国のPR強化②／ご当地メニューの創出イベントを企画

◎全国に福島市のおいしいくだものをPRするため、一般社団法人「料理ボランティアの会」の協力で「福島市産りんご」を使用したスイーツコンテストを実施、作品の商品化を目指す。

(5) 都市基盤の整備 (6) 中小規模商業者の支援

2. 希望ある都市構想

(1) 40万人都市 (2) メディカルバレー

(3) 環境最先端都市

3. 教育、スポーツの振興

(1) 全国トップレベルの学力を目指す

(2) 東北一のスポーツ都市を目指す

4. 観光資源のブラッシュアップ

(1) 文化財を観光の視点でPRを指示／民家園、じょーもびあ宮畑

(2) 花の写真館の現在地保存を指示

(3) 国道115号連携の強化を指示(会津との連携)

(4) 「奥の細道」等歴史資源の活用を指示

8. 福島市のポテンシャル

1. 高い交通利便性「交通の要衝」

(1) 東京ー福島 東北新幹線で最短81分

(2) 東北縦貫自動車道インターチェンジが3箇所

(3) 平成29年度には、東北中央自動車道 福島米沢間が開通。福島相馬間も、平成28年度から部分開通を予定⇒高速交通網の縦軸と横軸が交わる「交通の要衝」

2. 企業が求める人材や生活環境が充実

(1) 粘り強く、勤勉な市民性

(2) 子育て支援施策の充実

(3) 豊かな自然、恵まれた住環境

3. 充実した助成制度

(1) 全国トップレベルの用地取得助成制度(最大50%)

(2) 国、県等の優遇制度も活用できる(津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金など)

4. ふくしま国際医療科学センターの設置

県立医科大学内に設置(平成28年度全面稼働予定)

産学連携による研究開発等が期待される

ロータリーの豆知識

第11回

決議23-34

決議23-34は、「社会奉仕に関する1923年の声明」として『手続要覧』に掲載されています。一般的に決議23-34といわれているのは、これが1923年に開催されたセントルイス国際大会に提出された第34号議案であったからです。決議23-34は、ロータリーの目的に基づくすべての実践活動に対する指針であると同時に、ロータリーの二つの奉仕理念をロータリー哲学として確定したドキュメントなのです。決議23-34のことをロータリーにおけるバイブルであるとか、般若心経に例える人がいます。ロータリーは宗教ではありませんから、その例えは当を得ないとしても、決議23-34がロータリーにとって極めて重要なドキュメントであることは間違いのない事実です。

決議23-34

第1条には、ロータリーの奉仕理念が説かれています。

『ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕一「超我の奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである』

第2条には、ロータリークラブの役割について、

- ①奉仕の理論を団体で学ぶこと
- ②奉仕の実践例を団体で示すこと
- ③奉仕活動の実践を個人で行うこと
- ④ロータリーの奉仕理念と実践を一般の人に受け入れてもらうこと

第3条には、国際ロータリーの役割について、

- ①奉仕理念の育成と普及
- ②クラブの拡大、援助、運営の管理
- ③情報伝達およびクラブ運営と社会奉仕活動の標準化

第4条には、ロータリー運動は単なる理念の提唱ではなく、実践哲学であること。

奉仕するものは行動しなければなりません。

第5条には、クラブの自治権について、

クラブが地域社会に適した奉仕活動を選ぶ絶対的権限を持っています。但し、ロータリーの目的に反したり、クラブの存続を危うくするような活動を禁止しています。

第6条には、社会奉仕実践の指針について、

他と重複する奉仕活動の禁止、大規模活動の制約、宣伝目的の活動の禁止、奉仕活動の原則は個人奉仕であり、クラブが行う活動はサンプルに過ぎないと記載されています。

(文責/丹治正博)

私のひとこと

阿久津 肇 会員



窓シヨン?などを理由に、大学当局から全員退寮処分を受けたとの報道があった。昔我々が行っていた寮生活と「同じようなことをしているな」と同情しつつ、当時は学生だからと大目に見られていたことも現在の世情では許容されないのだろうと感慨深く読んだ。

私は昭和二十七年に入學と同時に先輩の紹介で三神峯明善寮(他に台原明善寮があった)に入ったが、仙台市は戦災の跡が未だ修復されず、市内には米軍のキャンプが幾つもあった。汚い部屋で空腹を

散りにし花は幻か

過日、全国紙に東北大学明善寮生が風紀を乱した(未成年飲酒 騒動)

抱えながら、今にして思えば他愛もないことを深夜まで語り合った懐かしい記憶が蘇った。

今年仙台にいる娘を訪ねた七月のある日、五十四年振りに三神峯(小高い丘)に登った。現在寮は解体され無くなったが、跡地が公園になっていた。

その一隅に「東北大学三神峯明善寮 懐旧の碑」(写真)が元寮生の寄贈で建立され、寮歌「散りにし花は幻か」が刻まれている。暫しの間、過ぎ去った青春の思い出に浸った。



お客さま並びに来訪ロータリアン紹介



●ビジター (福岡東南RCより)
西日本鉄道(株) 常任監査役
みやの ゆうすけ
宮野 祐輔 様

※福島ロータリークラブパナーを差し上げました。

- 10月2日(木) 12:30~「辰巳屋」
・「職業奉仕月間」にちなんでスピーチ 菅野 晋職業奉仕委員長
・「米山月間」にちなんでスピーチ 白岩康夫会員
* 誕生祝い
○ 18:30 ~ 10月理事会(石林)
- 10月9日(木) 12:30~「ヤクルト本社福島工場」
「職場訪問例会」ヤクルト本社福島工場
○ 12:15 正門前集合、2F「PRルーム」にて例会
- 10月16日(木) 理事会承認休会(1回目)
- 10月23日(木) 12:30~「辰巳屋」
新会員スピーチ
総合学習塾アビリティ代表 佐藤朋幸会員
* プログラム案内 * 「友」紹介 * 血圧測定
- 10月30日(木) 12:30~「辰巳屋」
クラブ協議会(野崎ガバナー公式訪問前)

今月の「友」より

9月号の注目記事

- 横組みP3 / RI指定記事 / RI会長メッセージ
「ロータリーの将来を担う新世代」
- 横組みP7~15 / 特集 / 新世代のための月間
「新世代の未来のために」
P11...「姉妹3クラブで小6児童に英和辞典寄贈」 福島21RC 阿部正美会長
- 横組みP30~33 / 心は共に・東日本大震災
P32...「心を形にして滋賀から東北へ」 東近江RC
P33...「福島県学生親善囲碁大会」 福島21RC



河田 亨 委員

- 横組みP34~35 / よねやまだより
「DVDシリーズのご案内」
- 縦組みP13~19 / 友愛の広場
P17...「米山学友を招いて講演会」
福島グローバルRC 鈴木美恵子会員
- 縦組みP24~34 / ロータリーアットワーク
P30...「六つの鐘の音が響いた合同例会」
第2530地区県中分区



ニコニコBOX報告

〈報告〉今井理基夫 委員

本日のニコニコBOX投入額 28件 ¥53,000 累計 ¥808,000

○宮野祐輔様(福岡東南RC)
明日から行われる全国レクレーション大会参加のため、福岡から参りました。本日はよろしくお願ひ致します。

○幡 研一 会長エレクト
小林 香市長を歓迎して。本日、丹治会長の代理を務めさせて頂きます。

○後藤忠久 会員
小林 香市長の市政運営を皆様で応援して、福島市の復興を実現させましょう。

○坪井大雄 幹事
小林市長様、スピーチありがとうございます。

○他、市長様のスピーチによせてのメッセージ
渡部世一 / 田苗博 / 浦部博 / 志村光昭 / 高橋聡 / 海野卓哉 / 三宅 喬 / 大沼健次 / 児玉健夫 / 田沼紀美子 / 八子英器 / 白岩康夫 / 牧野吉晃 / 佐藤英典 / 森 洋一 / 安藤錬雄 / 八巻恵一 / 安藤健次郎 / 増子 勉

* * *
○佐藤朋幸 会員
すっかりさわやかな季節になってきておりますところ、二週間ぶりの例会出席うれしくお願ひいたします。

○加藤義朋 会員
米山梅吉記念館見学研修旅行が十月二十五、二十六日にあり、皆様のご参加を歓迎します。米山梅吉肖像画が拝見できます。

* * *
○氏川守義 会員
元会員、中村忠司さんの優しい眼差し、軽妙でありながらもどこか凛としたものを感じる語り口を懐かしく思い出します。詩集「故郷への道」の中「桜」と題して、同年・同月・同日生まれ、福島中学時代からの大親友、故田中善六PGの死を悼む一編がありますが、この先は彼の地でお二人が永遠に親しく語り合うことと思ひます。

○茂田士郎 会員
元会員の 中村忠司さんの訃報を悼んで書きました。中村さんの詩集を読むとき、亡き奥様と妹さんをしのぶリリカルな詩情と戦地に向かい散った友人への追悼が胸に迫ってきます。中村さんは老年に至ってこれらの思い出を透明な温かい目で見直して詩集にしておられました。いま天国でご親族、昔の友人達と談笑しておられると信じます。